

議 事 録

会 議 の 名 称	第7回小川北学区義務教育学校開校準備委員会																																																							
開 催 日 時	平成30年7月4日（水） 19時00分～																																																							
開 催 場 所	小川文化センター アピオス 小ホール																																																							
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小石川寛則</td> <td>小川 勲</td> <td>長谷川明美</td> <td>石井 正道</td> </tr> <tr> <td>吉田 洋子</td> <td>片岡 友加</td> <td>芝田 健二</td> <td>三代田 久</td> </tr> <tr> <td>戸塚 良和</td> <td>市根井克年</td> <td>成井 志野</td> <td>沼田 和幸</td> </tr> <tr> <td>藤田 康広</td> <td>新井 淳子</td> <td>小森 真史</td> <td>久保田達雄</td> </tr> <tr> <td>長谷川美智子</td> <td>佐藤 正</td> <td>萩野谷邦夫</td> <td>中村喜代美</td> </tr> <tr> <td>文倉 吉雄</td> <td>皆藤 正造</td> <td>野尻 秀子</td> <td>田口 智也</td> </tr> <tr> <td>萩原 栄</td> <td>小川 和夫</td> <td>中根 啓二</td> <td>中川 稔</td> </tr> <tr> <td>菅谷 正治</td> <td>鳥羽田 力</td> <td>藤井 敏生</td> <td>長島 幸男</td> </tr> <tr> <td>幡谷 好文</td> <td>石井 旭</td> <td>高野 晴夫</td> <td>大曾根慎悟</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>山本 洋平</td> <td>堤 憲之</td> <td>佐川 竜二</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>長津 智之</td> <td>白井 律子</td> <td>菅谷 清美</td> </tr> <tr> <td>藤田 誠一</td> <td>長谷川勝彦</td> <td>植田 薫</td> <td>外之内信浩</td> </tr> <tr> <td>内田 真基</td> <td>戸塚 聡</td> <td>入野裕美子</td> <td></td> </tr> </table> <p>【その他】 (楠山設計)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>磯部 力啓</td> <td>青木 伸美</td> <td>寺林 大樹</td> <td>片嶋 一裕</td> </tr> </table>	小石川寛則	小川 勲	長谷川明美	石井 正道	吉田 洋子	片岡 友加	芝田 健二	三代田 久	戸塚 良和	市根井克年	成井 志野	沼田 和幸	藤田 康広	新井 淳子	小森 真史	久保田達雄	長谷川美智子	佐藤 正	萩野谷邦夫	中村喜代美	文倉 吉雄	皆藤 正造	野尻 秀子	田口 智也	萩原 栄	小川 和夫	中根 啓二	中川 稔	菅谷 正治	鳥羽田 力	藤井 敏生	長島 幸男	幡谷 好文	石井 旭	高野 晴夫	大曾根慎悟	山本 洋平	堤 憲之	佐川 竜二	加瀬 博正	長津 智之	白井 律子	菅谷 清美	藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	外之内信浩	内田 真基	戸塚 聡	入野裕美子		磯部 力啓	青木 伸美	寺林 大樹	片嶋 一裕
小石川寛則	小川 勲	長谷川明美	石井 正道																																																					
吉田 洋子	片岡 友加	芝田 健二	三代田 久																																																					
戸塚 良和	市根井克年	成井 志野	沼田 和幸																																																					
藤田 康広	新井 淳子	小森 真史	久保田達雄																																																					
長谷川美智子	佐藤 正	萩野谷邦夫	中村喜代美																																																					
文倉 吉雄	皆藤 正造	野尻 秀子	田口 智也																																																					
萩原 栄	小川 和夫	中根 啓二	中川 稔																																																					
菅谷 正治	鳥羽田 力	藤井 敏生	長島 幸男																																																					
幡谷 好文	石井 旭	高野 晴夫	大曾根慎悟																																																					
山本 洋平	堤 憲之	佐川 竜二																																																						
加瀬 博正	長津 智之	白井 律子	菅谷 清美																																																					
藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	外之内信浩																																																					
内田 真基	戸塚 聡	入野裕美子																																																						
磯部 力啓	青木 伸美	寺林 大樹	片嶋 一裕																																																					
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの決定事項 ・本年度スケジュールについて ・平面計画案について 																																																							
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																																							
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																							
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																																							

【委員長あいさつ】

本日は、大変お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。

昨年度に引き続きまして、委員長を務めさせていただきます、上吉影小学校の久保田と申します。

平成35年度小川北学区義務教育学校の開校に向けて、昨年度から6回にわたり、話し合いを行ってきました。

今年度は、主に平面計画の検討を実施するというので、いろいろとご意見をいただきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

【教育長あいさつ】

お忙しいところ、また、暑いところ、会議にご出席いただき、ありがとうございます。今年度から、17名の方が新しい委員となりました。

会議において一番重要なことは、話が行ったり来たりになるということがないようにすることであると思っております。今回の準備委員会で決まったことを、次の準備委員会で崩すことがないようお願いいたします。

慎重審議の結果、すばらしい学校ができるよう、ご協議のほどよろしくお願いいたします。

【議事前の確認事項】

当日配布1・当日配布2に基づき、事務局より説明

事務局 議事に入る前に、事務局より2点報告・確認をさせていただきます。

1点目は、本会議の名称について、昨年度までは、「野田・上吉影・下吉影小学校統合準備委員会」ということで、新校舎の建設計画について、主に協議をいただいております、また、その協議において、新しい学校の形態・種類を小川北中学校と一体的に整備を行い、義務教育学校とすることで決定をした。このようなことから、本会議の設置根拠となる要綱を改めた。会議の名称を「小川北学区義務教育学校開校準備委員会」とさせていただきます、会議回数は継続して、今後も開校までの協議を行なってまいりたい。設置要綱につきましては、本日配布資料1として配布させていただいたので、確認をお願いしたい。

2点目として、本会議の傍聴に関する取扱いについて、本会議は、公開を原則とし、誰でも傍聴できるように、これまで、事前に会議開催の日時等を市のホームページ上でお知らせしているが、これまで、傍聴に関する手続きなど、具体的なことが定められていなかった。

このたび、当日配布資料2のとおり、あらためて基準として規定したので、確認をお願いしたい。

また、準備委員会開催後の会議録については、出席委員及び欠席委員の氏名を表示した上で、発言者の発言内容ごとの要点記録として、ホームページ等で公表することについても、あらためてご了承をお願いしたい。

【副委員長選出】

委員長 昨年度まで副委員長を務めていた小川北中学校久保田校長の異動のため、副委員長が不在となっている。どのように選出したら良いか伺いたい。

副委員長に皆藤委員を推薦する声あり。
副委員長に小川北中学校長 皆藤委員を選出。

【副委員長あいさつ】

4月に小川北中学校校長として赴任いたしました、皆藤と申します。
私は、北中学区在住で、下吉影小学校、小川北中学校出身です。
現在母校で仕事をしておりますが、5年後を予定している小川北学区の義務教育学校の開校を楽しみにしている一人です。
副委員長としての責任をしっかりと果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【協 議】

(1) 前年度までの決定事項について

資料1に基づき事務局より説明

事務局 昨年度までに決定した事項を説明させていただきます。
第1回で新設校舎を小川北中学校敷地内に建設すること、第2回で義務教育学校として一体的に整備を行うこと、その後、視察やアンケートを行い、第5回で施設整備方針を決定した。
大きなテーマとして、「将来の小美玉市を託す 児童生徒を健やかに育む義務教育学校」とし、テーマを実現するために3つの方針として、
・自然や地域に支えられ、児童生徒が安全に健やかに育つ学校
・小学校・中学校の9年間を見通した教育ができる学校
・児童生徒が個性を伸ばし、目標に向かい努力できる学校
とした。
第6回では新校舎への日影の影響を検討した上、グラウンドの広さを確保する観点から、既存校舎の北側へ配置することが決定した。

(2) 本年度スケジュールについて

資料2に基づき、事務局より説明

事務局 本年度スケジュールについて、説明させていただきます。
本年度の開校準備委員会の開催は計3回を予定している。時期としては、本日を第1回目として、その後10月、来年2月開催を予定している。本日は平面計画、校舎周辺の外構計画について協議を行い、そのご意見を基に、平面計画の修正、さらには、構造計画、設備計画の検討を行い、10月に平面計画の決定、外構計画の決定を行いたいと思う。その後、建物計画、まとめとして、計画イメージ（立面図など）の説明、計画提案説明の作成を行い、来年2月に基本計画案の決定をしたいと考えている。また、再検討が必要な場合など状況に応じて、準備委員会を開催したいと考えている。

(3) 平面計画案について

資料3に基づき、事務局より説明

事務局 平面計画案について、事務局から説明させていただく。
本日、既存校舎北側に新校舎を配置する案を3案提示している。この案については、本年度に入り、教職員へのアンケートや校長先生方との協議を行い、要望等を考慮した平面計画案となっている。
各プランの詳細については、楠山設計より説明を行う。その後、学校ごとのグループで協議いただき、A案、B案、C案のうち、最も良いと思う案とその理由や修正点、また1つの案にまとまらなかった場合、良い点や悪い点などを発表いただきたいと思います。また、司会進行、発表については、教頭先生、教務主任の先生にお願いしたい。
平面計画案の詳細について、楠山設計より説明する。

資料3に基づき、楠山設計より説明

楠山設計 各案の詳細について説明させていただく。
資料3を確認いただきたい。左下にA案、B案、C案と記している。
まず、これらの3案について共通の考え方を、資料3の右上に記入したので、順に説明させていただく。

【学年区分】

義務教育学校として9年間を過ごすことになるが、市小中一貫基本方針では、学年の区切りである「学年区分」を4-3-2として示されている。これらの学年区分を単位としてそれぞれにトイレを設け、学年区分を超えて人が行き来する動線とならないように両端に階段を設けている。
低学年の1・2年生の教室は1階に設け、また、他の普通教室よりも広くして、教室内のさまざまな活動が可能ないように計画している。

【新校舎の建設】

赤色の線で囲まれた部分が新しく建設する校舎の部分となっている。
どの案も既存校舎の北側に並行して配置しているが、2棟が独立して建つのではなく、渡り廊下等をつなぎ、一体の建物とする。

【特別教室】

現在の中学校には、黄緑色で示した音楽室・家庭科室などの特別教室がある。既存の特別教室は、設備等が確定しているため、改修は計画していない。
小学校と中学校との同時授業が増えることを考え、音楽室2と理科室2を新しく整備する。
また、ピンク色で示している図書室とPC教室は、隣り合わせで配置している。これからは、いわゆる本だけではなく様々なメディアとして教材が提供されると共に、コンピューターを活用した調べ学習などの利便を考えている。

【特別支援教室】

現在の各小・中学校にも特別支援教室があるが、現在の中学校の1階の特別支援教室はそのまま残しつつ、新しく学年教室と同じ階にも追加して設ける計画とする。

【校務センター】

義務教育学校となることによって、教職員の数も増える職員室を1ヶ所にまとめることで、小中の相互の交流が増えることが期待できる。

図面では、1階に「校務センター」と表現して配置しているが、校務センター内には教職員の更衣室や教材準備室、会議室などを設けることを計画している。

【昇降口】

1ヶ所にまとめ、全学年の児童・生徒が、同じ場所から出入りすることになる。

【サブグラウンド】

外構計画に関することだが、低学年と高学年の体格差に配慮して、低学年用を意識したサブグラウンドを設けた。南側の広いグラウンドは、これまで同様の広さを維持する。

以上が、3案に共通する考え方とする。

続いて、3案の相違点を説明させていただく。

A案とB案は、類似しているが、図書室の位置が異なっている。

【A案】

1階に図書室を設け、その北側に特別教室、さらに東側に1・2年生の教室となっている。その上の階を3・4年生の教室とし、学年区分の4-3-2の「4」を形成している。次の「3」は、その横に5・6・7年生の教室がまとまっている。最後の「2」の8・9年生がグラウンドの見える既存校舎となる。

校務センターの上の階に、特別支援教室をまとめて設けているが、B案とC案は、学年区分ごとに分散して設けている。

【B案】

図書室を2階に配置している。

学年区分の配置について、A案と異なる。「4」の1～4年生は同じだが、A案の「3」の5～7年生の教室の位置に「2」の8・9年生の教室を配置している。反対に、既存教室が、「3」の5～7年生となる。

【C案】

3階建ての計画としている。

1階の昇降口は、新校舎に設けている。

図書室や特別教室は、A案及びB案とほぼ同様の位置にある。

学年区分は、「4」・「3」はB案と同様だが、「2」を3階としている。また、多目的ホールが2階となっているのが、他の2案とは異なっている。多目的ホールについては、小体育館としての使用も予定しているため、上下階で重なる下の教室への音や振動に配慮した計画が必要と考える。また、外部からの出入りも想定し、外階段も用意している。

以上がA案、B案、C案の3案の説明となる。

委員長 楠山設計の説明をもとに、グループでA案、B案、C案のうち、どれが良いかの話し合いを進めてもらい、その理由も含めて発表してもらいたい。

グループ協議（15分）

委員長 意見の発表をお願いしたい。
グループ協議の意見を踏まえ、楠山設計に次回の修正案を提示してもらおう。

野田小 B案が良い。
3階は景観上、防災上、良くないため、A案とB案に絞った。
B案が建物の構造上、小中連携という目的どおり、3年生～9年生までが2階に集中していて良い。
修正点として、1階に図書室を配置し、また、昇降口から駐輪場までが遠いため、近くに配置してほしい。

上吉影小 B案が良い。
C案は職員室から3階までが遠く、生徒の管理上、不安がある。
A案とB案の決定的な違いとしては、図書室・PC室が2階にあることだが、総合的な学習等の調べ学習に利用する際に、図書室やPC室が2階にあると良い。

下吉影小 B案が良い。
2階と3階の比較の結果、2階建てが良いとのことで、A案とB案に絞った。
A案とB案の違いとして、図書室の位置であるが、利用の観点から、図書室は2階にあるメリットが大きいとの意見になった。
他案で取り入れたい箇所として、ロータリーと駐輪場の形態はA案の方が良い。

小川北中 A案が良い。
3階は現実的に管理上不安があるため、A案とB案に絞った。
昇降口の使い勝手や1・2年生教室の前に配置されているオープンスペースの使いやすさから、A案が良い。
また、中学生からすると、ロータリーの近くに駐輪場があると良い。
修正点として、図書室は2階にしてほしい。

- 委員長 グループにおける協議の結果、新校舎は2階建てとし、3階案であるC案は、なしとなった。
A案、B案それぞれの良いところを取り入れるというかたちで、意見を集約し、次回の準備委員会の際、楠山設計に平面計画案を再度提示してもらおう。また、実際に校舎を使用する教職員の意見も踏まえながら、平面計画案を提示してもらいたい。
- 楠山 外構の説明について補足しておきたい。
A案、B案のうちどちらかでないといけないというわけではなく、それぞれの良いところを取り入れていければと思う。
また、放課後子どもプランは、サブグラウンドの前に設置する方向で進めていきたい。
- 副委員長 4月から小川北中学校で仕事をしていますが、2階建てで、2階のフロアに3学年が学習する快適な空間です。
今後建設される新校舎も2階建てに決定し、素敵な学校ができることを、楽しみにしています。
10月もよろしくお願いいたします。

19:52 閉会